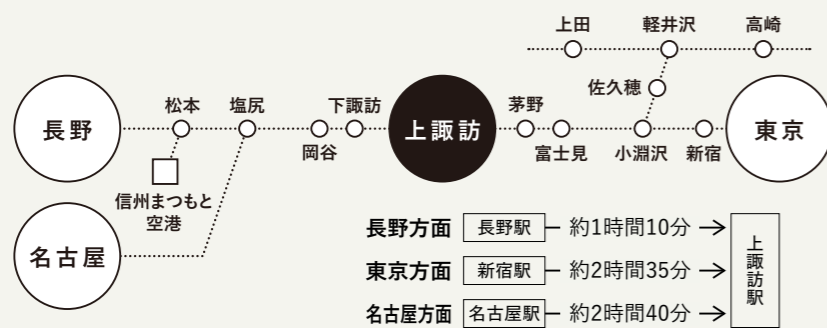




## アクセス Access

自然・伝統・文化を体験!  
諏訪の魅力を見つけ旅

【電車をご利用の場合】

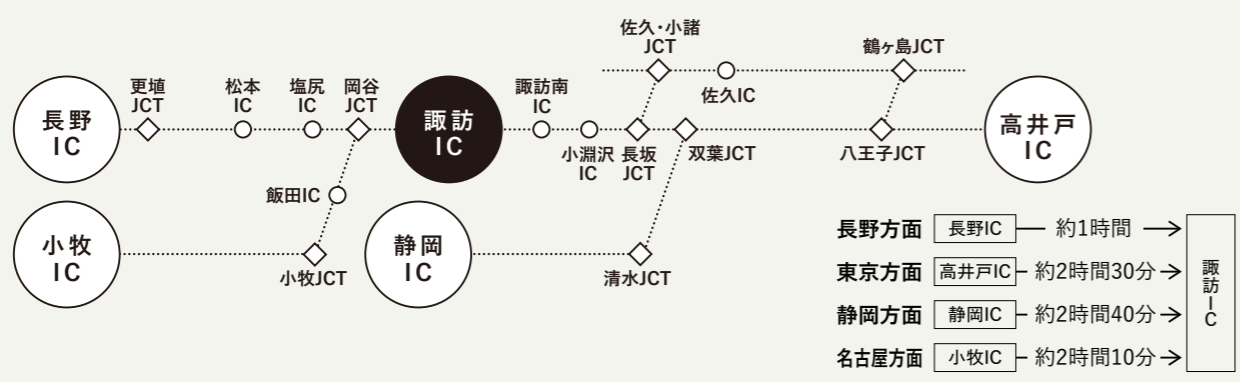


長野方面 長野駅 約1時間10分 → 上諏訪駅  
 東京方面 新宿駅 約2時間35分 → 上諏訪駅  
 名古屋方面 名古屋駅 約2時間40分 → 上諏訪駅

【飛行機をご利用の場合】



【自動車をご利用の場合】



長野方面 長野IC 約1時間 → 諏訪IC  
 東京方面 高井戸IC 約2時間30分 → 諏訪IC  
 静岡方面 静岡IC 約2時間40分 → 諏訪IC  
 名古屋方面 小牧IC 約2時間10分 → 諏訪IC

### ●お問い合わせ先

- 岡谷市** 岡谷市観光協会  
〒394-8510 長野県岡谷市幸町8-1  
TEL.0266-23-4854 FAX.0266-23-6448
- 下諏訪町** 下諏訪観光協会  
〒393-8501 長野県諏訪郡下諏訪町4613番地8  
TEL.0266-26-2102 FAX.0266-27-1339
- 諏訪市** 諏訪観光協会  
〒392-0023 長野県諏訪市小和田南14-7 諏訪商工会館1階  
TEL.0266-52-2111 FAX.0266-53-4126
- 茅野市** 茅野市観光案内所  
〒391-0001 長野県茅野市ちの3506 モンエイトビル2F  
TEL.0266-72-2637 FAX.0266-73-8322
- 原村** 原村観光連盟  
〒391-0192 長野県諏訪郡原村6549-1  
TEL.0266-79-7072 FAX.0266-79-7072
- 富士見町** 富士見町観光協会  
〒399-0211 長野県諏訪郡富士見町富士見4654-224  
TEL.0266-62-5757 FAX.0266-62-7747
- 小海町** 小海町観光協会  
〒384-1192 長野県南佐久郡小海町大字豊里57番地1  
TEL.0267-92-2525(代表) FAX.0267-92-4335
- 北杜市** 北杜市観光協会  
〒408-0002 山梨県北杜市高根町村山北割3261  
TEL.0551-30-7866
- 佐久穂町** 佐久穂町観光協会  
〒384-0798 長野県南佐久郡佐久穂町大字畑164番地  
TEL.0267-86-1553 FAX.0267-86-4935

長野県諏訪地域振興局商工観光課  
〒392-8601 長野県諏訪市上川1-1644-10  
TEL.0266-57-2955 FAX.0266-57-2967

諏訪地方観光連盟  
〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30  
TEL.0266-58-1123 FAX.0266-58-1844

右記QRコードの  
観光情報もご覧ください

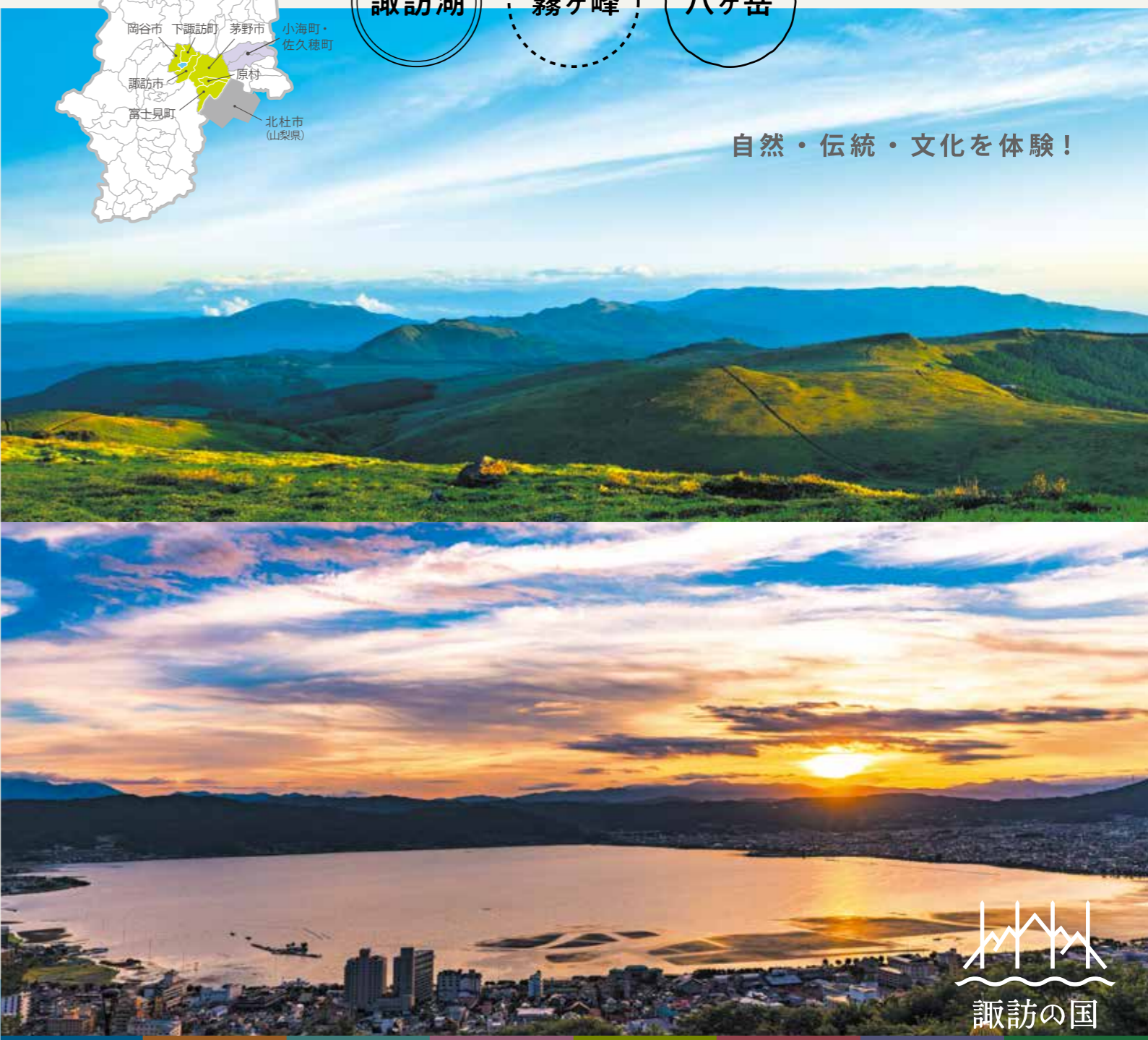
<https://www.suwa-tourism.jp/>

# 信州 諏訪エリア 広域観光ガイド

Travel Guide of Suwa Region



自然・伝統・文化を体験!







湖と溶けあう  
空のかおりを深呼吸

【諏訪市】  
立石公園から見る諏訪湖



あざやかな彩りに  
包まれて

【岡谷市】  
鶴峯公園のツツジの花



時を超えた  
艶美と出会う

【茅野市】  
仮面の女神(左)と  
縄文のビーナス(右)



高原の風に吹かれて  
心が動く

【富士見町】  
富士見パノラマリゾートから見る雲海







満天の星のもとで  
大切な人を思って

【原村】  
八ヶ岳自然文化園から見る天の川



神秘の森で  
悠久の時に迷いこむ

【小海町】  
苔の森



厳かな空気に  
チカラをいただく

【下諏訪町】  
諏訪大社 下社 秋宮



流れ落ちる水に  
心も洗われて

【北杜市】  
精進ヶ滝





# エリア情報

## Area Information

首都圏から約2時間でたどり着く諏訪エリアは、人々の生活と密着してきた諏訪湖、多様な動植物が生きる霧ヶ峰高原、壮大な八ヶ岳など、自然と伝統の文化が息づく信州の魅力にあふれる土地であり、表情の異なる3つのエリアが存在します。

### 諏訪湖 エリア

岡谷市

下諏訪町

諏訪市

諏訪湖を中心に広がるこの地域は、諏訪大社をはじめ、美術館や博物館といった歴史・文化が集積されるとともに、製糸業や精密機械などの産業が発展しました。豊富な湯量を誇る上諏訪温泉、下諏訪温泉も有名です。



### 霧ヶ峰 エリア

下諏訪町

諏訪市

茅野市

霧ヶ峰、蓼科高原、白樺湖、車山高原といった高原で構成されるこのエリアは、日本有数の観光道路であるビーナスラインで結ばれています。夏には、国の天然記念物に指定されているニッコウキスゲの花のほか、さまざまな高原植物が楽しめます。



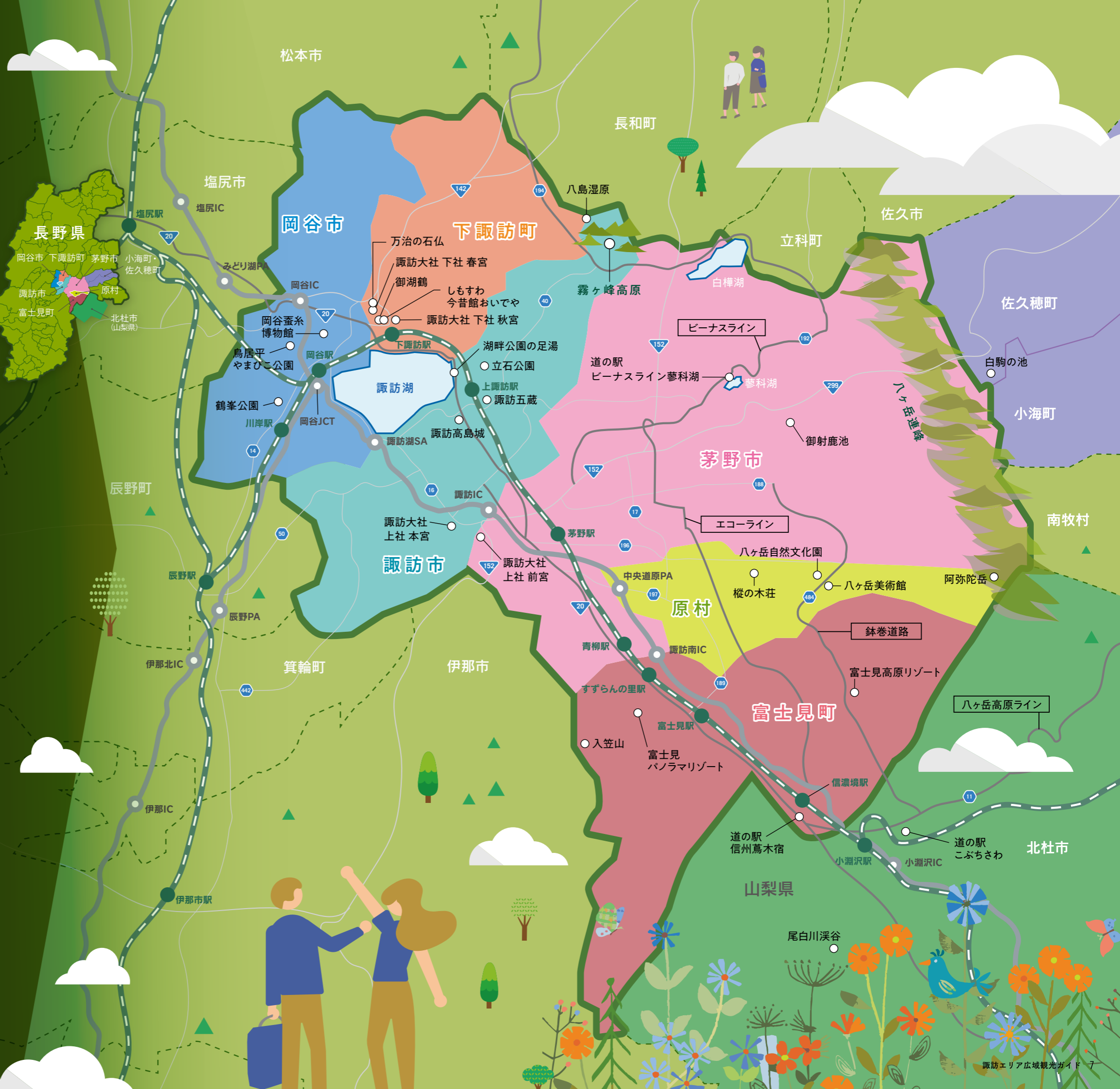
### 八ヶ岳 エリア

茅野市

原村

富士見町

八ヶ岳山麓に広がるこのエリアは、信州の山々を代表する山岳美と、原生林や高山植物の宝庫として知られています。澄んだ空気の中で、春夏秋冬、1年を通じてさまざまなアクティビティを満喫できます。





# 諏訪エリアの特色

## Features

諏訪エリアは山梨県と隣接しており、長野県内では軽井沢とならんで首都圏に最も近い地域です。中央自動車道を使って名古屋からもアクセスが良いほか、松本空港(松本市)からも比較的近いため、信州観光の玄関口となっているエリアです。

豊かな自然や文化にあふれ、温泉が楽しめる宿泊施設も多く、信州観光の醍醐味が詰まったエリアでもあります。東京や名古屋と比べて気温・湿度が低く、雨も少なく過ごしやすいことから、夏場には多くの方が訪れています。信州での滞在型観光の拠点としてもおすすめです。

	諏訪	東京	名古屋
日平均気温	12.2°C	16.5°C	17.0°C
月平均降水量	126.3mm	132.5mm	142.6mm

※2020年気象庁データより

# 3つのみどころ!

## 自然

長野県で一番大きな諏訪湖や、八ヶ岳連峰、霧ヶ峰高原といった自然が豊かな風土で、春から秋にかけてはニッコウキスゲやホテイアツモリソウなどの貴重な高山植物が咲きほこります。別世界のように神秘的で貴重な苔の森なども見ることができます。

諏訪湖



霧ヶ峰



八ヶ岳



## 文化

日本で一番長く縄文時代が続いた土地と言われ、独特の文化が残されています。

特に、天下の大祭として7年に一度行われる「御柱祭」で有名な諏訪大社は、全国各地にある諏訪神社の総本社であり、国内で最も古い神社の一つとされています。

諏訪大社

諏訪大社上社本宮



縄文

国宝  
縄文のビーナス(右)と仮面の女神(左)



御柱

御柱祭 里曳き



## 体験

毎年8月15日に開かれる「諏訪湖祭湖上花火大会」は、1日で約4万発の花火が打ち上げられ、「1日で打ち上がる花火の数」としては日本最大級の花火大会です。

最近では、諏訪湖周をめぐるサイクリングロードが整備され、サイクリングを楽しみに訪れる人も増えています。

花火

諏訪湖祭  
湖上花火大会



サイクリング



温泉

上諏訪温泉



# 岡谷市

Okaya City



現代の精密機械につながる製糸産業が栄え、その名が世界にまで知られたシルクのまち。  
足を延ばすと、野の花や紅葉、小鳥のさえずりが目と耳を喜ばせる自然公園も。  
“300人揃い打ち”が大迫力の太鼓まつりは、岡谷の夏を熱く盛り上げます。

### “シルクの都”の礎を知る

明治から昭和にかけて発展し、日本の近代化に大きく貢献した岡谷の製糸業を学べる岡谷蚕糸博物館(シルクファクトおかや)は、国内では珍しいシルクの博物館。繭クラフト・機織り体験や製糸工場見学もできます。製糸に関わる「近代化産業遺産」に認定された15件の貴重な建物・設備(見学などは条件あり)が市内に残り、当時の繁栄を伝えています。



製糸工場



岡谷蚕糸博物館

### 中部日本一のツツジの名所

5月上旬になると約30種類、3万株ものツツジが咲き誇る鶴峯公園。シルク王と呼ばれた片倉組初代片倉兼太郎ゆかりの公園で、ツツジは岡谷市の市花にもなっているほど。赤、白、ピンクなどさまざまな色が小高い丘を彩ります。最盛期には毎年「つつじ祭り」が開かれ、多くの人でにぎわいます。



鶴峯公園のツツジ



諏訪湖を眺めてひと休み

### 自転車で巡る諏訪湖畔

諏訪湖を囲む1周約16kmのサイクリング・ジョギングロードは、湖周辺の観光スポットにも立ち寄りやすいアクセスルートとして最適。岡谷駅前と岡谷蚕糸博物館にはレンタサイクルがあります。脚に自信がある方なら、諏訪湖から鳥居平やまびこ公園まで(一般道)の標高差240mにチャレンジしてみてください。

### 子どもから大人まで

諏訪湖を一望する鳥居平やまびこ公園は、幅広い世代が遊べる憩いの場。子ども向けの遊具から、手軽にチャレンジできるスポーツエリア、ドッグランやバーベキューピットも備え、季節の花も観賞できます。併設の「プリンス&スカイラインミュージアム」は車好きにおすすめの博物館です。(冬季は閉鎖)



鳥居平やまびこ公園

Pick up!

### 知る人ぞ知るうなぎのまち

諏訪湖畔にあり、天竜川の始点ともなる岡谷市では、古くからうなぎが獲られていました。さばきは関東流、焼きは蒸さない関西風なのが特徴です。1月に「寒の土用丑の日」を定め、「寒うなぎ」のおいしさを全国に発信しています。





# しもすわまち 下諏訪町

Shimosuwa Town



中山道と甲州街道が合流する下諏訪は、中山道六十九次でただ一つの温泉宿場町。  
古い町並みの風情を感じながら、ゆっくりと巡ってみたいものです。  
オルゴールや時計など、諏訪地方のものづくり技術にふれるのもここならではの体験。



諏訪大社 下社 春宮



諏訪大社 下社 秋宮

## 荘厳な空気が満ちる社

全国1万以上ある諏訪神社の総本社となる諏訪大社は、諏訪湖周辺の四社を総称したもので、下諏訪町には下社(秋宮・春宮)があり、古木を御神体として祀る自然信仰が受け継がれ、そのたまたまに歴史の重さを感じます。秋宮神楽殿の大注連縄や「寝入りの杉」、春宮の「結びの杉」や参道に残る「下馬橋」など、多くの見どころもあります。



八島湿原

## 素朴で心和む石の仏様

春宮から徒歩5分、万治の石仏は、田んぼの真ん中に現れるユニークな姿の仏様。春宮の大鳥居を造ろうと石工が石にのみを打つと、石から血が流れたため、阿弥陀如来を刻んで霊を納めたものと言われます。下諏訪を訪れた画家・岡本太郎氏が「こんなに面白いものは見たことがない」と絶賛しました。



万治の石仏

## 亜高山植物が生きる湿原

約12,000年かけて形づくられたとされる八島湿原。国の天然記念物にも指定されている湿原で、ここでしか見られない貴重な動植物の生息地として守られ続けています。まずはビジターセンター「あざみ館」で湿原について学び、1周約90分で巡る遊歩道をたどって、季節ごとの花や生き物にふれてみませんか。

Pick up!

## 下諏訪唯一の酒蔵が復活

以前の醸造元が自己破産し、一時は酒造りが途絶えていた下諏訪の地酒「御湖鶴」(みこつる)でしたが、支援を得て、事業継承により再出発。新しい蔵と杜氏での酒造りが、品評会で賞を取るほど評価されています。



## 下諏訪まち歩きの出発点

しもすわ今昔館おいでやは、時計のミュージアムで時計づくりを体験したり、町内の埋蔵文化財を知ったりと、下諏訪の歴史文化を体感できる複合施設。観光情報センター機能もあり、E-bike(電動アシスト付スポーツバイク)も貸し出しています。下諏訪を満喫した後は足湯でゆっくりするのもおすすめです。



時計づくり体験

# すわし 諏訪市

Suwa City



諏訪湖に臨むまちとして、充実した湖畔・湖上アクティビティーが自慢。  
国内屈指の名湯、レジャーと自然が満喫できる高原、  
歴史ある寺社や地域文化など、多彩な楽しみがそろっています。



立石公園から見る諏訪湖

## 諏訪湖のビューポイント

諏訪盆地の中央にある諏訪湖は、2市1町に面した長野県内最大の湖。諏訪地域のシンボルとしてだけでなく、1年を通して集える憩いの場として地元の人々に親しまれています。湖の東の立石公園からは湖の全景が見渡せ、特に湖面の向こうの山並みに夕日が沈む絶景は一見の価値あり。新日本三大夜景・夜景100選にも選ばれたロマンチックな夜景もぜひ。



諏訪湖と夕日

## 湖が守った難攻不落の城

豊臣秀吉の家臣、日根野織部正高吉が築城した諏訪高島城。築城当時は諏訪湖の水が城の際まであり、お堀の役目をして城を守ったため、別名「諏訪の浮城」とも呼ばれました。現在の天守閣は昭和45年に再建されたもので、城内の公園は桜・藤などの花や紅葉の名所として多くの人にぎわいます。



高島城

## 高原のイメージそのままに

春から秋にかけて、レンゲツツジやニッコウキスゲ、マツムシソウなどの群生が目の前に広がる光景で知られる霧ヶ峰高原。植物だけでなく、グリーンシーズンはトレッキングやキャンプ、ホワイトシーズンはスキーやスノーシューツアーと、1年を通してさまざまなレジャーにも親しむことができます。



霧ヶ峰高原

## サッと気軽に温泉気分

豊富な温泉を利用した無料の足湯があちこちにある諏訪湖周辺。諏訪湖間欠泉センター隣の湖畔公園の足湯は、大勢でもゆったりできる広さ。もちろん天然温泉の心地よさはどこも共通で、足湯といえどもリラックス効果はバッチリです。そばにある「健康遊歩道」で足裏を刺激すれば、さらに体にいいこと間違いなしです。



湖畔公園の足湯

Pick up!

## 諏訪五蔵の地酒

酒造りに欠かせない条件がそろった諏訪市は酒のまち。甲州街道沿いに立ち並ぶ「舞姫」「麗人」「本金」「横笛」「真澄」の5つの酒蔵が、個性あふれる酒造りを追求しています。お得な「五蔵めぐり」で飲み比べてみませんか。



<https://www.suwakanko.jp/>

観光情報サイト  
「諏訪市観光ガイド」



<https://shimosuwaonsen.jp/>

観光情報サイト  
「おいでなして しもすわ」







# 茅野市

Chino City



市街地から標高2,000m以上の山岳まで、一つの市内に多様なエリアを抱えます。  
ピーナスライン、メルヘン街道など、観光スポットを結ぶアクセス道路が便利。  
国宝指定の土偶が出土した地でもあり、縄文文化にも出会えるまちです。

## 行き方いろいろの山時間

南北約25kmに及ぶ**八ヶ岳連峰**は、山のエキスパートからファミリーまで親しめる懐の深さが魅力。バラエティーに富んだ複数のルートがある**登山の玄関口**として茅野は最適です。ロープウェイや車でも近づける気軽さがうれしい「北八ヶ岳」、レベルに合わせた登山の醍醐味が味わえる「南八ヶ岳」。楽しみ方も考えて、エリアやコースを見つけてみましょう。



八ヶ岳

## 高原をカラダで実感

蓼科、白樺湖、車山といったリゾート地を中心に、さまざまな**高原アクティビティー**が充実。白樺湖ではカヌーやカヤック、車山では気軽なハイキングから本格トレッキングまで。最高の景色の中、ピーナスラインを走るサイクリングもおすすめです。1日の終わりには蓼科温泉郷の名湯で疲れを癒やしてみたい。



白樺湖



諏訪大社 上社前宮

## 諏訪信仰発祥の地

諏訪大社四社の中で最も古い**上社前宮**は、諏訪信仰の原点ともされる場所。「御柱祭」で曳かれてきた境内の4本の柱すべてに直接触れることができるのは、四社の中でここ前宮だけです。また市内には、御柱祭の見せ場の一つ、「木落し」を行う木落し坂もあり、7年に1度の大祭のスケールを感じられます。



## 道の駅「ピーナスライン蓼科湖」

茅野市初の道の駅が、2020年夏オープン。ピーナスラインの玄関口として観光情報を発信したり、蓼科湖周辺を楽しむ拠点として利用されています。著名人が愛した「蓼科アイス」をモチーフとしたソフトクリームがおすすめです。



八ヶ岳

## 静けさを表した絶景

昭和初期に農業用のため池として作られましたが、東山魁夷画伯の名画のモデルとなり、テレビCMにも使われて一躍注目を集めた**御射鹿池**。森の木々の姿とそれを映す水鏡の美しさは、一度は見てみたい絶景です。新緑の季節だけでなく、春夏秋冬を通していつでも絵になるスポットです。



御射鹿池

<https://navi.chinotabi.jp/>

観光情報サイト  
「茅野観光ナビ」



# 原村

Hara Village



ここにしかないオリジナリティーあふれる魅力が詰まった高原の村。  
新鮮な農産物や加工品が手に入る原村高原朝市は、30回を超える夏の恒例イベント。  
八ヶ岳クラフト市は、毎回多くの作家が集まるクラフトのおまつりです。

## 標高1,300mに星が降る

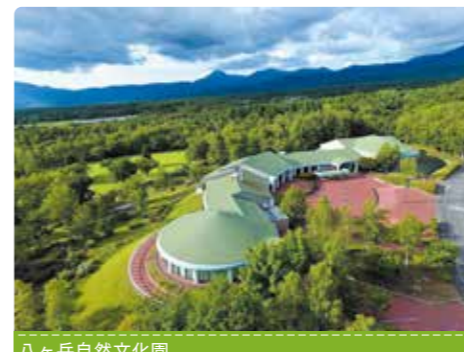
澄んだ空気と光源が少ないからこそ、美しい**八ヶ岳中央高原の星空**を生かして、多くのイベントが開催。「原村星まつり」は、昼夜を通して、宇宙や天文に関する多彩な体験や天文グッズの販売を行います。日本一標高が高い夏の野外映画祭「星空の映画祭」や、満天の星と共演するクリスマスシーズンの「星空のイルミネーション」も毎回大好評です。



星空の映画祭

## 五感で楽しむ大自然

**八ヶ岳自然文化園**は「八ヶ岳の自然とふれあい」をテーマにした通年営業のレジャーパーク。パターゴルフ場などのスポーツ施設やドッグラン、ストライダーコース、プラネタリウムを持つ自然観察科学館などがあります。日が暮れると八ヶ岳の夜空がお出迎え。4～12月には毎月、星空観望会を行っています。



八ヶ岳自然文化園

<https://www.haramura.com/>

観光情報サイト  
「原村観光連盟 コミュニティサイト」



冬の八ヶ岳に昇る星座

## パノラマ広がる頂上

村から眺められる八ヶ岳連峰のうち、村内に山頂がある**阿弥陀岳**(標高2,805m)。山野草を見ながら、コケに覆われた道をたどって歩きます。1年中枯れない清水で喉をうるおしたら、その先は本格的な登山道。ロープやはしごを伝って切り切った先の山頂からは、富士山も見える360度のパノラマが広がります。



阿弥陀岳



## 泊まって楽しむ原村

原村をもっと楽しむなら、ぜひお泊まりで。公共の宿「**樅(もみ)の木荘**」では、天然温泉「もみの湯」でリラックス。約70軒が集まる「**原村ペンションビレッジ**」では、個性的なオーナーとの出会いが心を満たします。

## 森に抱かれた芸術空間

建築家・村野藤吾氏が設計したユニークなデザインの建物が目を引く**八ヶ岳美術館**。郷土出身の清水多嘉示の彫刻と絵画、津金雀仙の書、村内から出土した縄文時代の土器・石器などの考古学資料を常設展示するほか、企画展も開催しています。屋外の散策路にも、清水多嘉示の彫刻作品が森に溶け込むように点在しています。



八ヶ岳美術館 (原村歴史民俗資料館)





# 富士見町

Fujimi Town



八ヶ岳と南アルプスという2つの山脈に抱かれながら、富士山も望める高原のまち。  
その風景の素晴らしさから、多くの映像作品のロケ地にもなっています。  
高原野菜や夏秋いちごなど、豊かな環境で育つ農産物も味わってみたいものです。



立沢大規模水田地帯

## 四季折々の山野草に出会う

ゴンドラでアクセスできる入笠山。すずらん山野草公園と入笠湿原では、春はスズラン、秋はエゾリンドウをはじめ、約150種類もの山野草が季節ごとに次々咲き誇ります。ゴンドラ駅から片道約1時間の手軽なトレッキングで、標高1,955mの山頂へ登れば、360度の絶景が迎えてくれます。



入笠山のドイツスズラン

## 遊ぼう! 2つの“富士見”

富士見町は東と西で2つのリゾートがあり、八ヶ岳の麓の富士見高原リゾートには、遊覧カートで巡る「花の里」や屋外美術館「創造の森彫刻公園」、日帰り温泉、ゴルフ場などが、南アルプスの麓の富士見パノラマリゾートは山野草のほかMTBなどのアクティビティも。どちらも冬はスキー場がオープンし、ウインターシーズンもたっぷり楽しめます。



富士見高原リゾート テラスデッキ

## Pick up!

### 真っ赤なルバーブ

冷涼な高原地帯のみで育つ赤いルバーブは、爽やかな酸味が特徴の野菜。町の特産である赤いルバーブは、ジャムなどに加工され、町内の観光施設や飲食店のメニューに登場します。6~10月には畑での収穫体験もできます(要申込み)。



## 富士山の絶景ポイント

富士山の眺望がきれいな「関東の富士見百景」に選ばれている富士見町。葛窪中央道トンネル、創造の森彫刻公園、立沢大規模水田地帯の3地点では、三者三様、それぞれの富士山が楽しめます。目の前に広がる町の風景や、堂々とした八ヶ岳の姿と相まって、季節や時間帯によってもまったく表情が違う富士山を、何度も訪れて眺めてみたいくなります。



創造の森彫刻公園

## 地元ガイドと巡る歩き旅



おひさんぼウォーキングガイドツアー

地域住民による観光アドバイザー「おもてなしガイド」と一緒に、町の自然や歴史を探索したり、そば打ちなどの体験ができるおひさんぼウォーキングガイドツアー。日程・内容が決まっているイベントツアーと、オーダーメイドのフリーツアーの2スタイルで、じっくり歩きながら町の魅力を味わえます。

# 小海町 佐久穂町

Koumi Town / Sakuho Town

温泉やアートも楽しめる小海。いくつもの森に出会える佐久穂。  
美しい森と湖が、訪れる人を非日常の癒やしへと導きます。



苔の森

## 澄んだ水を育む神秘的森

標高2,100m以上の湖としては日本最大の天然湖・白駒の池。透明度5.8mと、驚くほど透き通っています。池の周辺には国内でも貴重な苔の森が点在し、数百年生き続ける原生林をコケが覆い尽くしています。池の周回と森とを結ぶ遊歩道が整備され、森のパワーを全身に浴びながらトレッキングが楽しめます。



白駒の池

## 高原レジャーの中心地

散歩や釣りなどが楽しめる松原湖周辺では、多彩なイベントが通年で開かれます。近隣にはレジャー施設・宿泊施設・日帰り天然温泉があり、水陸のアウトドアスポーツや星空観察などアクティビティの拠点としても便利。



松原湖

## Pick up!

### 白樺群生地

約200haにおよそ50万本が群生する、日本一美しいとも言われるシラカバの林。ここはツツジの群生地としても知られ、春には真っ白な幹と鮮やかな朱色が見事なコントラストを見せます。



<https://30seconds-trip.jp/movie/shirakomaike>

観光 PR 動画「白駒の池・苔の森 30seconds trip」



# 北杜市

Hokuto City

国蝶オオムラサキの生息、日照時間、ミネラルウォーター生産量…  
いくつもの“日本一”を誇る、水と緑と太陽のまち。  
市内にある数々の日本百選を巡る旅もおすすめです。



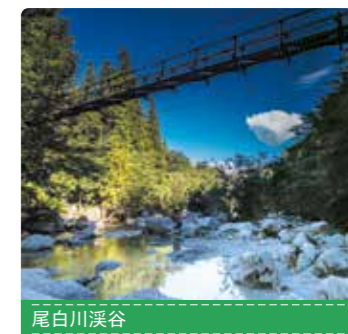
精進ヶ滝

## ダイナミックな流れは圧巻

日本の滝百選に選ばれた精進ヶ滝は、東日本最大級の落差121mの大滝。おにぎり石、天狗岩などいくつもの奇岩を眺めながら、渓谷沿いの遊歩道を歩くこと約40分で、季節ごとの景観に映える滝の姿が見える滝見台へ到着します。特に秋は、紅葉と水しぶきが織りなす絶景に目を奪われます。(12月上旬~4月下旬は林道冬季閉鎖)

## 渓谷道は見どころいっぱい

日本名水百選の一つ、尾白川。大小の滝やエメラルドグリーンに輝く淵など、清流が自在に形を変えて、渓谷の登山道(往復約2時間半)は歩く人の目を楽しませます。(12月上旬~4月中旬は渓谷道冬季閉鎖)



尾白川渓谷

## Pick up!

### 日帰り入浴施設「増富の湯」

日本三大ラジウム温泉の一つ、増富ラジウム温泉。かつては信玄の隠し湯、今はラジウムの効能を生かした療養泉として親しまれています。指導員のアドバイスのもと、気軽に湯治体験しませんか?



[https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/docs/kankou\\_pam\\_hokutrip.html](https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/docs/kankou_pam_hokutrip.html)

観光 PR 動画「ほくとりっぷ」

